

# 災害に備えよう

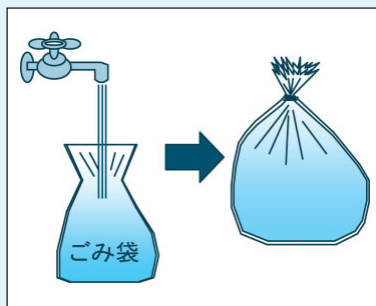
問 消防本部予防課防災指導係 ☎43-4151

9月は台風や大雨が発生しやすい季節です。浸水による被害が予想される際には、家庭にある物を使って自分で簡単に出来る『簡易水防工法』を覚えておくと役に立ちます。いざという時のために、ぜひ覚えておきましょう。

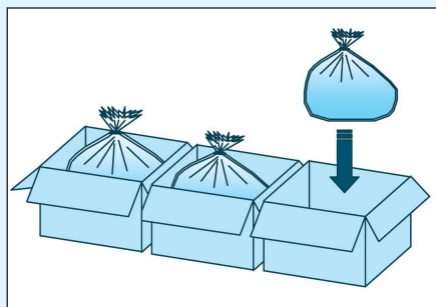
注) 水深が浅い「浸水の初期段階」の方法です。雨量や浸水の状況を見極め、危険と思われるときは早めに避難するよう心掛けてください。

## ●土のうの代わりにごみ袋で簡易水のうを作る

家庭にあるごみ袋を2、3枚重ねて、水を半分ぐらい(または持ち運べる程度)入れて口を縛る。土のうのように並べて使用します。



## ●簡易水のうと段ボール箱を併用して使う

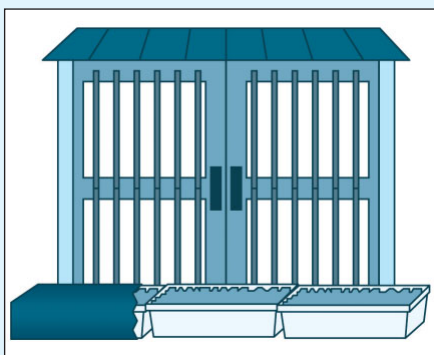


簡易水のうを段ボール箱に入れて使用すると、水のうだけを並べたときに比べて、強度が増し安定するほか、積み重ねて使用することも出来ます。

さらに、ブルーシートやレジャーシートなどで覆い段ボール箱を濡らさないようにすると、強度を保つことが出来ます。

## ●家庭にある物を利用する

土の入ったプランター(植物を栽培する容器)を並べて、ブルーシートやレジャーシートなどで巻いて使用します。プランターの代わりに、はしごを利用しても効果があります。



大館市交通指導隊隊長  
数田 金 光さん(上代野)

## 急がず ゆっくり ゆつくり ゆつくりを持って

指導隊は主にどのような活動をしていますか?

歩行者や自転車利用者の安全確保を第一に考えて、街頭での指導・誘導や、イベントの交通整理などを行っています。また、女子隊員が幼稚園などに出向いて、園児や保護者のために交通安全教室を開くなど、交通安全の心掛けを家庭(家族)の中に浸透させる取り組みにも力を入れています。

今年には交通死亡事故が3件発生しています

痛ましい事故が続きましたが、加害者も被害者も高齢者が関係しています。街

頭指導をしても、赤信号の横断歩道を、車が途切れる瞬間を見て小走りに走り抜ける人がいますが、特に高齢者が多いんです。若いころと違い、自分が思っているほど早く渡り切れるものではありません。まして2車線の車道は道幅も広く、スピードを出して走る車が多いですから。決して過信しないでほしい。事故に遭ってからでは遅いんです。

街頭指導中以外に気が付くことは

両耳にイヤホンを付けて、ラジオなどを聞きながら散歩をしているかたや自転車を運転しているかたをよく見掛けます。後ろから車が来ても気付かないこともあり大変危険ですし、自転車運転中は禁

止されています。罰則が科せられることもありますので、ぜひ止めてほしいです。

皆さんに心掛けてほしいことは

一つは、法令の改正や道路の通行方法が変わるなどの、日々の変化に順応出来るよう、日ごろから情報をチェックしてもらいたいですね。

例えば、御成町や市役所前の交差点が歩車分離信号(※)になりましたが、理解していない運転手や、正しい横断方法が分からない歩行者が多いんです。

もう一つは、歩行者も運転者も急がず、ゆつくりと待つ気持ち、ゆつくりを持って欲しい。そして最後に、飲酒運転は絶対止めてもらいたい、これは絶対です!

※歩車分離信号とは、歩行者と自動車の信号をそれぞれ別に、歩行者が「青」の時、自動車は「赤」にする方式の信号